

今こそ知りたい！

SDGs 未来都市 智頭

本町は住民を主体としたまちづくりが評価され、令和元年7月に総務省の「SDGs 未来都市」に選定されました。SDGs 未来都市選定から3年が経過した智頭町のまちづくりについて紹介します。

そもそも SDGs って何？

SDGs : Sustainable Development Goals とは、「持続可能な開発目標」のことであり、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための目標です。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載され、すべての国、人々が達成すべき17の国際目標と169のターゲットから構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▲ 17の国際目標（ゴール）

▶ SDGs 未来都市とは？

SDGs 未来都市とは、中長期を見通したまちづくりで持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて優れた取組みを提案する都市のことです。

目標達成への取り組みは、市民・民間事業者・行政の連携を深め地域課題の解決にも繋がるとされ、地方創生のモデルとして推進されています。



本町は、「一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ」を総合計画の将来像として、「日本1/0村おこし運動」「百人委員会」といった住民自治、地域資源である山林の活用、住民個々の豊かさの実現を目指したまちづくりを行ってきました。こうした取組みが国に評価され、SDGs 未来都市に認定されました。

◀ 地域について学ぶ授業「ちづNEXT」の様子 (R3.6.29)

本町の「一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ」という将来像は、国連が掲げている地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」という理念と重なっています。

問合せ先 役場企画課 ☎ 75-4112